

愛知県板金工業組合 第53回総代会開催 於 中日パレス



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市中昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

▶ あいさつする小野寺理事長



愛知県板金工業組合第53回総代会が、平成30年2月15日(休)に中日パレスに於いて開催された。
 定刻の午後1時、竹内氏(知多ブロック)の司会にて、山内常務理事の開会の辞に続き物故者黙祷の後、小野寺理事長が挨拶に立った。議長に本田氏(名古屋ブ

▶ 総代会風景



ロック)が選出され、定数確認(総代数65名、出席50名、委任状提出15名)があり議案審議となった。

◆議事

- 第1号議案
平成29年度事業報告
損益決算他の件
- 第2号議案
平成30年度事業計画、
収支予算案他の件
- 第3号議案
賦課金徴収方法の件

▶ 講演する名古屋市中消防署
奥村副署長



- 第4号議案
借入金最高限度額の件
 - 第5号議案
平成29年全板国保
収支決算の件
 - 第6号議案
平成29年度労働保険
収支決算の件
- 決算、予算に於いては数件の質疑があったものの全議案が可決承認され議長降壇となった。
 その後、来賓の愛知県産業労働部産業振興課課長・

▶ 懇親会風景



太田義孝氏、愛知県中小企業団体中央会専務理事・石川泰三氏に祝辞を頂き、臨時の来賓が紹介され、杉本常務理事の閉会の辞にて午後2時40分閉会した。
 休憩後、同会場にて名古屋市中消防署副署長・奥村孝宏氏の「防火と防災」と題した講演会、又午後4時から他の来賓の方々も参加して懇親会が開催され、午後6時前散会となった。
 松浦(東三支部)

尾張板金連合会 総会

2月18日(日)アイプラザ一宮において平成29年度尾張板金連合会の総会が開催された。

来賓に愛知県板金工業組合 小野寺俊一理事長、訓練協会 井藤和美会長、愛知県板金工業組合 後藤実副理事長を迎え午前10時出席者26名にて開会した。

西春日井支部 橋本強氏の開会の辞に続き物故者黙祷、大山耕平会長挨拶の後、瀬戸支部 磯村晶氏が議長に選出され議事



▶ あいさつする大山会長

に入り一号議案から六号議案まで無事承認された。続いて来賓の小野寺理



▶ 総会風景



▶ 懇親会風景

事長、井藤会長に挨拶をいただき田口繁勝相談役の閉会の辞にて無事総会を終えた。

休憩後、後藤副理事長により全板連、愛知県板金工業組合の共同購入商

岡崎支部

第64回 通常総会

岡崎支部は、2月11日(日)午前10時より、岡崎市産業人材支援センターにおいて、西三板金連合会会長 神谷定幸様、岡崎技術工学院院长 長坂佳則



▶ あいさつする石原支部長

品の商品紹介説明が行われ購入を呼び掛けられた。その後、送迎バスにて場所を移動し日本料理江美にて懇親会が行われた。

猪飼(津島支部)

様、横山興業(株)石田哲也様、太田商事(株)小島清様の臨席を賜り、出席者24名、委任状提出者12名で平成29年度通常総会を開催した。



▶ 総会風景

高柳航一氏が司会進行を務め、戸松孝明副支部長の開会の言葉、物故者黙祷の後、石原晴久支部長が挨拶し一年の総括を述べた。続いて、代表者交代による新組合員、大河原淳氏が紹介された。

議案審議に入り、議長に内山直行氏が選出され、

東三支部

第79回 通常総会

東三支部は、2月11日(日)、豊橋商工会議所406会議室に於いて第79回通常総会を開催した。来賓に愛知県板金工業組合 小野寺俊一理事長、



▶ あいさつする河田支部長

議案は全て承認された。神谷様と石田様より挨拶をいただき、平成30年度のスローガン「安全は一人一人の意識から、心引き締め安全確認」が発表され、全員で唱和し、鈴木俊貴幹事長の閉会の言葉で閉会した。

安形(岡崎支部)

理事長、(株)セキノ興産岡島豊橋店長、横山興業(株) (3頁へつづく)



▶ 総会風景

(2頁よりつづき)

星川豊橋支店長、(株)ウチダ中島部長を迎え、出席者39名(委任状提出64名)で、午後2時開会した。

司会を原田副支部長が務め、河田支部長挨拶の後、豊川班長の近藤氏が

議長に選出され議案審議に入った。第1号議案の平成29年度事業報告から第6号議案の愛知県板金工業組合報告まで全議案無事承認となった。

来賓の小野寺理事長と岡島氏からご挨拶を頂き、

午後3時閉会した。

休憩を挟み懇親会が開かれ、終始和やかな雰囲気の中、午後6時前に散会となった。

松浦(東三支部)

第44回

新春板金セミナー

平成30年2月11日(日)愛知県産業労働センター5階にて、愛知県職業能力開発協会専務理事・久保田勇男氏、愛知県板金工業組合専務理事・小野寺俊一氏、中部ダクト工業協同組合理事長・村上友章氏、愛知県板金総合職業訓練協会顧問・長谷川信俊氏を来賓にお招きし第44回新春板金セミナーが開催された。

会長挨拶に続き来賓の久保田専務理事より技能者育成の見地から35歳未

満の方の技能検定料を、3級に限り減額すること、国が2023年技能五輪

国際大会を愛知県に招致したこと、子供には物作りに興味を持たせる旨の挨拶を賜った。

午後の勉強会では生命保険協会認定ファイナンシャルプランナー辻崇志



▶セミナー風景



▶講演の一幕

先生から「お金の常識塾」として、ふるさと納税、クレジットカードETCカードのポイントを利用した節税方法、最近のマイナス金利下の金融・経済動向を解説頂いた。午後の講演では重要無形文化財総合指定保持者・第十四世野村又三郎氏から「和楽の世界に生まれて」の題目で狂言の基礎について講演を頂いた。その後の曲名「暁の明星」の唄いと舞の公演では「西へちろり、東へちろり」の掛け声に聴衆は皆、しばし幽玄の世界に魅き込まれていた。最後に板金専門校の若手指導員二人が壇上に招かれ、扇を用いて酒を酌み交わすシーンの実技指導を受け笑いを誘った。

その後恒例の新春福引があり、午後3時半、本年のセミナーを終了した。



第43回

訓練生技能コンクール

平成30年2月18日(日)、愛知県職業訓練会館にて、愛知県産業労働部労政局産業人材育成課主幹・田中栄二氏を来賓にお迎えし、第43回訓練生技能コンクールが開催された。

県内の職業訓練生が訓練過程で修得した技能を競う事で訓練効果の高揚を目的に毎年開催されている。実施科目は、建築板金、木造建築、左官・タイル施工、電気工事、石材加工、造園、パン・菓子製造、サッシ・ガラス施工、屋根施工の9科目。10団体から84名が技を競った。

建築板金科は名古屋の愛知県板金技能専門学校から3名、豊橋高等技術専門学校から4名、岡崎技術工学院から1名の計8名が今年の課題「斜面に接する切頭円錐」の展開図に挑戦した。

三角形法で実長を求め高度な図法にもかかわらず、全員が見事正確に描いたが、僅少の差で岡崎代表の近藤勇介さんが知事賞を受賞、二位、三位愛知県職業能力開発協会会長賞は、豊橋の河田裕敬さん、名古屋の浅野朋幸さんがそれぞれ選出され、惜しくも入賞に漏れた方全員は努力賞を受賞した。

浅井(中支部)

豊田支部 親睦ボウリング大会

豊田支部は2月10日(土)に豊田市元町的美登里ボウルに於いて恒例の親睦ボウリング大会を開催した。

組合員の家族や従業員

の他、横山興業(株)からも参加をいただき、53名が2ゲームのトーナルピンで順位を争った。

午後6時30分にスタートし、90分ほどで全員が投げ終え、場所をミールディングルームに移して

表彰式が行われた。伊藤

武支部長と横山興業(株)の

松本収所長の挨拶の後、

1位から順位発表となり

全員が参加賞を受けとつ

た。

各部門の優勝者

男性の部

赤池義徳さん 322点

女性の部

赤池美幸さん 351点

子どもの部

福田優介くん 269点

東三支部 職業訓練展に参加

平成30年2月10日(土)、第8回東三河職業訓練展が豊橋市職業訓練センターで開催された。東三支部も毎年参加協力している。今回は「銅板レリーフ作り」での出店であつ

たが、50名近いお客さんが訪れ、役員の指導のもと、レリーフ作りを体験した。

お昼頃と午後3時頃にはつきたてのお餅も来場者に配られ、一日の開催



松浦(東三支部)

ではあつたが多くの人で賑わつた。

今年も支部企画委員の皆様準備により大変盛り上がったボウリング大会になりました。

赤池(豊田支部)



優勝者の皆さん

2月度の動き

【県板】

- 4日 青年部幹事会 於 岡崎市
- 7日 総務委員会 於 組合会議室
- 11日 新春板金セミナー 於 愛知県 産業労働センター
- 15日 県板総代会 於 中日パレス
- 16日 全板連正副理事長会議 / 日板協正副会長会議 於 ホテルグランド パレス諫早
- 16日 石本惣治氏受章祝賀会 於 ホテルグランド パレス諫早
- 20日 保証委員会 於 組合会議室
- 24日・25日 青年部全国建築板金競技大会 於 富士教育訓練センター
- 27日 広報委員会 於 組合会議室
- 28日 全板国保組合会 於 東京板金会館

【各支部】

- 中川・港支部 22日 定例会
- ・県板総代会の報告
- ・連合会総会について
- 津島支部 5日 定例会
- 岡崎支部 7日 役員会
- ・支部総会について
- 11日 支部総会
- 刈谷支部 8日 定例会
- 豊田支部 5日 第10回役員班長会13名
- ・県板等各種報告
- 東三支部 11日 第79回通常総会 46名

編集後記



この2月の話題は何と言つても平昌冬季オリンピックではなかつたでしょうか。冬季オリンピックとしては過去最高の13個のメダルを獲得。スピー

ドスケートの小平・高木姉妹、フィギュアスケートの羽生・宇野、カーリング女子、ジャンプの高梨など日本人選手の活躍には目を見張るものがありました。

個人的にはスピードスケートの小平の金メダルと、ジャンプの高梨の銅メダルに感動しました。

特に小平選手が競技終了後に次に滑る選手のために取った行動には、世界中から賞賛の声が上がっており、スポーツマンとしての在るべき姿を見せてもらった様な気がします。

因みに、今私の廻りでは「そだね〜」が流行ってます。(笑) M

二月二十七日(火) 五四五号号 編集会議 広報委員 五名 後藤副理事長出席 午後二時半開会 五時閉会